運 営 計 画

（令和７年度）

令和７年４月１日

中央動物専門学校

目　次

１．建学の目的. 1
２．教育方針. 1
３．基本的運営方針. 1
４．令和７年度 運営重点項目. 1
５．運営指針. 2
６．学生在籍推定数. 2
７．教育指導内容及び教育運営. 2
８．教育設備機器等の整備. 4
９．進路指導. 4
10. 広報活動. 5
11. 附帯事業. 6
12. 行事予定. 7

１．建学の目的

学校教育法に基づき、文化・教養系の中で動物に関わる分野に従事しようとする者に専門的知識及び特定技術・技能を習得させるとともに品性の陶冶に重きを置き、視野の広い良識のある動物管理技能者の育成を目的とする。

中央動物専門学校は、創立１１５年を超える母体校の専門学校中央工学校（開学 1909 年）の姉妹校として、２００２年に開校した。法人名である「中央工学校」の“工”において、上の棒は「天」、下の棒は「地」、間の棒は「人を結ぶ」という壮大な概念を表し、校是は「堅実」である。

このことを改めてかみしめ、専門学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方を基軸に、動物の基礎知識を学び「人」と「動物」がより良く共生できるための確かな技術力を持った人材を育成するために設立された。

２．教育方針

動物に携わる関係上、専門分野の教育だけでなく、次の３つを教育方針とし、必要な専門知識と、種々の管理技能をもったスペシャリストの育成を目指す。

（１）優しい心

（２）倫理観

（３）自己責任

学内で３６５日共に暮らす校有動物を通して、命の尊さと思いやりの心を育て、真に人間らしく、強く、優しい人材の育成に努めている。

また、「自己責任」と対応して、８０％以上の出席率を明記卒業・進級要件とし、科毎の評価と一定の資格取得を必修として定め、心身ともに健全で、苦労を惜しまず、専門知識と技術を習得した人材を育成する。

３．基本的運営方針

「教育方針」による【動物を優しく見守る心】【命の尊さと善悪の判断ができる心】【最後までやり遂げる意識・責任感の心】の３つの心を持つ学生を、本校の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）とし、その基本的運営方針を次のように定め、全学的に推進する。

（１）実技・実習による「厳しい実務教育」を教育の中核とする。

（２）「人間涵養教育」により、豊かな社会性を有する技能者を育成する。

（３）学生生活の充実のため学習環境の整備を図り、学生と共に「楽しい学校」を作る。

４．令和７年度運営重点項目

（１）人間涵養教育の実践と教育の質の確保

（２）関係法令の適応対策と学校運営計画の再構築

（３）学生募集の強化と入試制度の改編実施

５．運営指針

（１）学校運営組織

令和７年度の学校運営組織は、次のとおりとする。

（単位：名）

区　分	人　数
本務教員	31
兼務教員	23
本務事務職員	10
兼務事務職員	1
計	65

（２）各種委員会体制

学校運営を円滑に行うために次のとおり委員会を設置する。

①学友会学生委員会　②海外研修委員会　③国内研修委員会
④図書委員会　⑤美化･緑化委員会　⑥情報発信委員会
⑦永久パートナー制度委員会　⑧同窓会運営委員会　⑨大動物実習委員会
⑩自己評価委員会　⑪教育評価委員会　⑫動物倫理委員会

６．学生在籍推定数

令和７年度予算編成上の学生数は、本推定数とする。

（単位：名）

項　目	６年度	７年度	増減	前年度比	摘　要
学 生 数	409	381	-28	93.2%	新入生・進級生減少
クラス数	20	20	－	100.0%	

７．教育指導内容及び教育運営

（１）愛犬美容関連科

ア 教育の高度化に向けた取組み

① 愛犬美容科（２年制）と愛犬美容研究科（３年制）の学習内容の差別化
② 愛犬美容研究科への転科希望学生の増加に向けた魅力ある授業の実施
③ プードル以外のショーグルーミング授業の実施

イ 教育内容の充実を目的とした取組み

① 動物美容実習における学生数に見合った実習頭数の確保と実習教室の整備
② 少人数でのグループ実習の拡充による細やかな指導
③ 外部講師による実技講習及びトリミング業界のニーズに即した動物美容実習の実施
④ 学生数に見合った動物美容実習指導体制の整備

（２）愛玩動物看護科

ア 教育の高度化に向けた取組み

① 愛玩動物看護師養成カリキュラムに準拠した教科構成に加え、本校独自のカリキュラムの実施

② 高度医療機関、専門性の高い動物病院、その他臨床検査機関等での校外研修の実施

イ 教育内容の充実を目的とした取組み

① 犬用トレーニングプールを活用した運動療法やマッサージ等、リハビリテーションの基礎を習得

② 獣医療業界のニーズに即した実習授業の実施

③ 能動的学習の強化

④ 動物関連業界への理解を深める校外研修の実施

（３）動物共生関連科

ア 教育の高度化に向けた取組み

① 履修年限（３年制及び４年制）を活かした多様な授業展開で、学生の希望や能力に合わせた学習環境の整備

② 創造性と思考能力の向上教育の強化

イ 教育内容の充実を目的とした取組み

① コミュニケーション能力及び社会人力の向上教育の強化

② 動物業界の動向を反映した教育の実施

③ 授業形態の改善による学生理解度の向上を図る授業の実施

④ 飼養動物との交流をとおした、共生社会の実現に向けた独自カリキュラムの実施

⑤ 動物の福祉の理念に基づいた飼養動物の飼育環境整備

（４）校有動物飼育管理

動物美容実習及びトリマー実技試験並びに看護検査実習における、学生数に応じた校有犬の頭数管理及び必要種類の維持のため、次の項目に重点を置く。

① 校有動物の各種実習に対応した必要頭数の確保と健康管理

② ショークリップ用トイプードルの安定的供給

③ 認定トリマー実技試験用の校有犬のコート管理

④ 保健所等行政機関との連携強化

⑤ 永久パートナー制度を利用した計画的な校有動物の入替え

⑥ 校有動物の飼育管理

⑦ 食洗機導入、洗濯機乾燥機の増設による衛生管理の充実化

⑧ 企業との連携による動物飼育の検討

⑨ 改正動物愛護法に対応する、各種法令遵守の取組み

（５）動物美容実習用モデル犬・モデル猫

実践的な動物美容実習を継続して実現させるために、愛犬美容科教員との連携を図りながら、次の項目に重点を置き、モデル犬・モデル猫の安定供給を図る。

① モデル犬・モデル猫の登録数及び犬種・猫種の調整

② 送迎業務及び動物美容実習における安全対策強化

③ モデル犬の老齢化（小型・中型 11 歳、大型 10 歳）による引退時期の見直し、及び若年（１歳以上８歳未満）の新規モデル犬確保

④ モデル犬オーナーへの混合ワクチン・狂犬病接種（毎年）依頼

⑤ モデル猫オーナーへの混合ワクチン接種依頼

⑥ 動物美容実習における事故発生時の対処と学生指導への反映

⑦ 動物愛護法法令遵守の徹底（動物取扱業の「保管」に該当）

⑧ 猫ブリーダーとの連携強化による猫美容実習の充実化

⑨ モデル犬送迎車両の適正な運用管理

（６）教員の資格取得の奨励と積極的な研修参加

授業内容の充実と学生への信頼感確保の観点から、次の資格取得推奨と実務研修等への参加を積極的に行う。

① 愛玩動物看護師（国家資格）

② 全日本動物専門教育協会認定資格（トリマー、家庭犬訓練士、ハンドラー、キャットグルーマー）

③ 全国動物専門学校協会認定資格（トリマー検定員、家庭犬トレーナー検定員、動物健康衛生管理検定員）

④ 愛玩動物飼養管理士

⑤ 動物取扱主任者

⑥ 東京都専修学校各種学校協会の教員教職課程研修会

⑦ （一社）専門学校コンソーシアム Tokyo 教育の会の各種研修会

⑧ ドッグショー及び各関連協会の講演会・講習会

⑨ ペットショップ・動物病院・飼育施設等での実務研修

８ 教育設備機器等の整備

（１）教育環境の充実を目的とした施設・機器類の整備

① 個別相談用ミーティングルームの設置

② 授業用ノートパソコンの追加購入

③ 尿化学分析装置の追加購入

９ 進路指導

（１）就職指導体制

動物関連企業、動物関連施設、非常勤講師、特別講師等との連携強化を図り、動物業界の動向と実態を調査し、就職先や実習先の確保に努める。また、学生と就職先のミスマッチ防止のため次の項目に重点を置いた指導を実施する。

ア 就職指導

① クラス担任との連携による学生の進路希望の把握と、適正な指導の実施

② 模擬面接等の積極的指導

③　就職意識向上を目指す授業や卒業生講演の積極的実施による学生の職業観や労働観の醸成

④　学生の就職選択及び就職意識の向上を目的とした就職ガイダンスの実施

⑤　定期的(年２回)な合同企業説明会の開催及び通年の企業説明会の実施

⑥　インターンシップ等の推進による就職におけるミスマッチの防止

⑦　社会人として必要なビジネスマナーの体得及びコミュニケーション能力の向上を図る指導の実施

イ　求人先・研修先の確保

①　首都圏 400 社以上の校外研修先への訪問

②　関東圏を中心に約 5,500 社に、求人依頼及び本校の学校案内書の送付

③　研修先に関する情報収集及び学内での公開

④　卒業生との連携による就職先企業の調査

１０　広報活動

（１）基本方針

①　東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県の１都３県を中心とした校内ガイダンス参加及び高校との連携強化に重点を置いた募集活動の展開

②　学内イベント参加者からの出願率アップを目指したイベント内容の見直し

③　オウンドメディア広告を利用した学校認知の強化（社会人・既卒者の増加策）

④　インターネット広告･WEB 媒体の活用（本校 WEB サイト･進学情報サイト･SNS 他）

⑤　高校１・２年生に対する早期告知の強化と総合型選抜入試への誘導

⑥　広報職員・学生サポーターのスキル向上

（２）普及活動における広報計画

ア 進学説明会への参加

①　高等学校内開催形式：主に首都圏（１都３県）を中心に年間約 400 校へ参加

②　主要都市で開催される会場形式：年間約 10 会場へ参加（中央工学校と連携）

イ 高等学校訪問

①　学生募集重点地域を中心に、年間４回以上を目標に約 300 校を訪問

②　首都圏（１都３県）の高校との連携強化

ウ 日本語学校訪問

①　高校生の募集状況と、過去の入学実績等を考慮し訪問を計画

②　留学生会議での情報共有による留学生募集の展開

エ （一社）専門学校コンソーシアム Tokyo 関連

①　しごと倶楽部 2025 他、加盟校との連携による専門学校の魅力訴求強化

（３）体験入学、学校説明会等の学内イベント

①　来校型イベントの動員目標　500 名(出願対象者実人数)

体験入学７回、学校説明会 11 回、学科別体験入学７回、オープンカレッジ２回、総合型入試説明会２回

② 動画配信による学校認知の強化企画・実施、エリア拡大

③ 個別相談会等（来校型イベントの開催状況に応じた個別相談会の企画・実施）

（４）目標出願数

令和８年４月入学生の目標出願数は、次のとおりとする。　　（単位：名）

学　科　名	修業年限	入学定員数	目　標　数
愛犬美容科	２年	60	60
愛犬美容研究科	３年	10	10
愛玩動物看護科	３年	70	70
動物共生研究科	３年	20	20
動物共生総合科	４年	10	10
合　計		170	170

１１　附帯事業

（１）近隣住民との連携

① 近隣住民・モデル犬オーナー等を対象とした「犬のしつけ方教室」の開催

（２）同窓会との連携

① 同窓会総会等の開催（令和７年５月）

② 年３回の会報誌発行（第 52 号～第 54 号）

③ 随時会員から企画を募り親睦を深める研修会等の開催

１２　行事予定

月	日	行事	月	日	行事
4	4	教職員会議	9	26	前期成績発表
	8	入学式			前期授業終了日
	9	オリエンテーション		29	後期授業開始
	9・10	健康診断	10	1	推薦型選抜願書受付開始
	11	前期授業開始		18・19	学園祭
5	9	合同企業説明会①	11	4	一般選抜願書受付開始
	26	総合型選抜説明会	12	22	冬期休暇前授業終了日
	29	保護者会（授業参観）		23	仕事納め
6	2	総合型選抜エントリー開始	1	5	仕事始め
	17	教育課程編成委員会①		8	冬期休暇後授業開始
7	11	体育祭		20	教育課程編成委員会②
	26	夏期休暇前授業終了		29	卒業学年定期試験開始
	30	Tokyo しごと倶楽部 2025	2	10	進級学年定期試験開始
8	1	夏期職員研修会		20	卒業学年授業終了
	8～19	夏期休業期間		25	卒業成績審議会
	29	教員研修報告会	3	2	卒業決定発表
9	1	夏期休暇後授業開始		5	合同企業説明会②
		総合型選抜願書受付開始		16	進級学年授業終了日
	8	前期定期試験開始		19	卒業証書授与式
	25	学校関係者評価委員会		24	進級成績審議会
				30	進級発表